

# 函館營林局ぶな立木幹材積表

調整 説明 書

---

函 館 営 林 局

函館營林局ふな立木幹材積表調製説明書正誤表

頁	行	誤	正
7	上14	$V = ad^{b1} h^{b2}$	$V = ad^{b1} h^{b2}$
"	下12	$Y - \hat{Y}$	$Y - \hat{Y}$
"	〃9	$\Sigma y x_1 x_2 < Y - \hat{Y}_1$	$\Sigma y x_1 x_2 < Y - \hat{Y}$
8	上15	$tb_1 = q_1 / sb_2$	$tb_1 = b_1 / sb_1$
"	下2	$\tau Y X_1 \cdot X_2 = \frac{\tau Y X_1 - \tau Y \hat{X}_1 \cdot \tau X_1 X_2}{\sqrt{}}$	$\tau Y X_1 \cdot X_2 = \frac{\tau Y X_1 - \tau Y X_2 \cdot \tau X_1 X_2}{\sqrt{}}$
"	下1	$\tau Y X_2 \cdot X_2 = \frac{\tau Y X_2 - \tau Y \hat{X}_2 \cdot \tau X_1 X_2}{\sqrt{(1 - \tau Y X_1^2)(1 - \tau X_1 X_2^2)}}$	$\tau Y X_2 \cdot X_2 = \frac{\tau Y X_2 - \tau Y X_1 \cdot \tau X_1 X_2}{\sqrt{(1 - \tau Y X_1^2)(1 - \tau X_1 X_2^2)}}$
9	図1	$S y x_1 x_2^2$	$s y x_1 x_2^2$
"	下5	$q_1^2, q_2^2, \dots, q_t^2$	$q_1^2, q_2^2, \dots, q_t^2$
"	〃4	$q^2 = q_1^2 + q_2^2 + \dots + q_t^2$	$q^2 = q_1^2 + q_2^2 + \dots + q_t^2$
"	〃2	$S_r^2 = \frac{q_r^2}{f_r}$	$S_r^2 = \frac{q_r^2}{f_r}$
10	上5	自由度は	自由度
"	〃9	$\Sigma (f_r \times \log s^2 r)$	$\Sigma (f_r \times \log s_r^2)$
"	〃11	= -5095.187424	= -5095.187424
"	〃12	(-5095.186670 + 5256.908034)	(-5095.186670 + 5256.908034)
"	下12	$\Sigma (f_r \times \log s^2 r)$	$\Sigma (f_r \times \log s_r^2)$
"	下11	$x^2 = 2.3026 \{$	$X^2 = 2.3026 \{$
11	上8	$\Sigma (S y_i)^2$	$\Sigma (S y^2)_i$
"	〃10	$\Sigma (f_r$	$\Sigma (f_r)$
12	〃1	2,987>	2.987>
"	〃8	$\Sigma (d y x_1 x_2^2)$	$\Sigma (S d y x_1 x_2^2)$
"	下2	$\left\langle F_{\frac{1039}{4}} (0.05) \right\rangle$	$\left\langle F_{\frac{1039}{4}} (0.05) \right\rangle$
14	図上	込みにした回帰係数 $b'_{x_1} \mid b'_{x_2}$	込みにした同帰係数 $b''_{x_1} \mid b''_{x_2}$
"	"	$12.695 > F$	一段下る
"	"	$E$	$F$
"	上6	$b$ .....胸高直径	$d$ .....胸高直径
15	上5	用いた式を	用いた式を
16	下6	林学試験場	林業試験場
"	下5	木業謙吉	木梨謙吉
38	〃5	$[Y_2]$	$[X_2]$
"	〃8	$[X_2, Y]$	$[X_1, Y]$
"	〃8	$[Y_2]$	$[Y^2]$

頁	行	誤	正
38	上 9	$I \times - \frac{x_1}{n}$	$I \times - \frac{X_1}{n}$
"	" 11	$I \times - \frac{x_2}{n}$	$I \times - \frac{X_2}{n}$
"	下 9	$I \times - \frac{y}{n}$	$I \times - \frac{Y}{n}$
40	上 6	438.5685715	438.568571
"	下 9	$I \times - \frac{y'}{n}$	$I \times - \frac{Y}{n}$
44	上 6	$[X, y]$	$[X, Y]$
"	" "	-5.121158	5.121158
56	上 10	$(S dyx_1 x_2 )^2$	$(S dyx_1 x_2 )^2$

# 函館営林局ぶな立木幹材積表

## 調製説明書

### 目 次

I. 緒 言	3
II. 適用地域およびその根拠	4
1. 地勢および地質	4
2. 気 候	4
III. 材積表調製資料	5
1. 資料蒐集地域	5
2. 資料の選定および調査方法	5
3. 資 料 の 整 理	6
IV. 材積表の調製	7
1. 調製方法の決定	7
2. 材積式の計算	7
3. 資 料 の 吟 味	7
4. 売却後の材積式の計算	8
5. 10cm直径級別・材積式の比較	8
6. 検定の結果と材積式の決定	14
7. 材積表の適合度	15
8. 材積表使用上の注意	15
9. 新旧材積表及び平均材積との比較	15
V. 調製年月日及調製担当者職氏名	16
VI. 引用並に参考文献	16

附表及び附図

## I. 緒 言

昭和22年の林政統一後発足した当局において、現在使用中の立木幹材積表は、興林会北海道支部叢書第一輯、北海道立木幹材積表（林学博士中島広吉著）であるが、一般にこの材積表と実数値とに多少の差異があるのではないかと云う声があり、尚且昭和26年8月、林野第11,231号「主要樹種立木材積表調製資料測定要綱」によつて、地域別に材積表の検討を行つた結果、調製の要があつたので、当局としては、昭和28～33年度に亘り、この要綱によつて、ブナの資料を集めめた。

当局における、ブナの分布は、室蘭・俱知安・岩内の各事業区を除く管内全域に亘つて、蓄積1,575万m<sup>3</sup>で管内総蓄積の50%弱である。（昭和33年統計資料）

このような管内ブナ蓄積量より判断して、ブナのみの材積表を作成することが妥当であると考へ、新たにブナ立木幹材積表を調製した。

この材積表作成に當つて、御指導を賜つた、林業試験場大友測定研究室長・林試北海道支場長内経営研究室長、並に資料採集に御協力をいただいた各営林署長および署員各位に対し、謝意を表するものである。

昭和35年3月

函 館 営 林 局

## II. 適用地域及びその根拠

本材積表は管内全地域のブナに適用するものである。

### 1. 地勢および地質

管内は北海道・渡島半島の全域を占める山岳地帯で、大千軒岳1,072m、遊楽部岳1,276m、狩場山1,520m、を結ぶ縦走の渡島山脈と、後方羊蹄山1,893m、駒ヶ岳1,140m、の那須火山系の山脈が走っていて、地勢は極めて複雑である。そして之等の山脈によって日本海・内浦湾・津軽海峡に夫々面している。

地質は黒松内地溝帯より東部一帯は、大部分安山岩よりなり、洞爺湖附近に一部石英粗面岩を見る。

内浦湾に面した側は新第二紀層、津軽海峡側は大部分が安山岩で、一部石英粗面岩、一部古成層がある。

日本海側は大部分新第三紀層で、一部古成層がある。

### 2. 気候

海洋性気象の影響をうけて、北海道としては比較的、温暖な区域にある。気象状況の大要を示すと、

年平均気温 5.5°~9.5°C

年平均最高気温 10.4°~12.3°C

年平均最低気温 0.8°~7.0°C

年間降水量 1,000~2,000mm

年平均降雪量 俱知安 185cm

△ 函館 江差 38cm

初霜 10月上旬 晩霜 5月中旬 である。

### III. 材積表調製資料

本調製に使用したデータの調査資料は昭和28~33年度に亘って調査したもので、総て国有林の主伐(皆伐)地において採集したものである。

#### 1. 資料採取地域

資料収集ヶ所は第1表及び第1図の通りである。

第1表 資料収集ヶ所別径級別本数

営林署	旧径厂区	林小班	4~10	12~20	22~30	32~40	42~50	52~60	62~70	72~80		計
函館	茂辺地	184 <small>i</small>	22	39	33	43	34	15	2	2		190
森	落部	29 <small>i</small>	26	19								45
	〃	33 <small>i</small>	37	17	1							55
江差	上の国	81 <small>i</small>	93	44	59	56	22	4	1	2		281
	〃	329	64	161	3							228
	〃	111		58	17	1						76
俄虫	館	155 <small>i</small>	65	80	45	61	28	14	5	2		300
八雲	長万部	37 <small>ろ</small>		18	106	89	57	26	4			300
東瀬棚	瀬棚	33 <small>は</small>				26	59	46	18	7		156
〃	太櫓	61 <small>ろ</small>	90	27								117
黒松内	島牧	25 <small>i</small>		2	63	93	63	26	11	2		260
合計			455	424	311	368	263	131	41	15		2008

#### 2. 資料の選定及び測定方法

資料の選定及び測定方法は調製要綱に基いて実施したが、本調査における概要は次の通りである。

- (1) 調査木は胸高直径4cm以上のものについて、各直経階・樹高階別に亘って選定した。
- (2) 胸高直径は地上1.2m(北海道は従来1.3mの箇所を測定しているので念の為に地上1.3mも測定)の位置において輪尺により樹幹の2方向を測定した数値の平均とした。測定単位はmmまで読みとった。
- (3) 樹高は地際より梢頭までの長さを測定し、m単位でcmまで読み、単位以下2位を4捨5入して単位以下1位にとめた。
- (4) 幹材積の算出に当っては、区分材積・梢頭材積毎に算出し、夫々の材積を合計して幹材積とした。区分材積はフーベル区分求積式によつて樹幹に沿つて、先づ地際より上に1mの箇所、以下順次2m増す毎に

箇所の皮付直径を測定した。稍端部分は元口直径とこの点から稍端までの長さを測定し、円錐体求積式で算出した。

- (5) 幹材積。算出に必要な直径は胸高直径の測定に準じ、材積は $m^3$  単位により単位以下5位まで算出5位を4捨5入して4位にとどめた。
- (6) 材積計算に使用する円面積は $m^2$  単位により単位以下5位を4捨5入して4位にとどめて使用した。

### 3. 資 料 の 整 理

収集した資料を各調査木の直径階・樹高階別本数を表示すると第2表の通りである。

## VI. 材積表の調製

### 1. 調製方法の決定

材積表の調製方法には、形数法・共線図表・調和曲線・材積式法とあるが、この中最も好んで用いられる材積式法で直接材積を求める方法を採用し、山本和蔵氏の使用した材積式を用いた。

今両対数方眼紙に幹材積対樹高幹材積対胸高直径をプロットすれば、第2, 3図の通りであつて、大体直線関係にあることがわかつた。

$$\text{即ち } V \propto D^{b_1}$$

$$V \propto H^{b_2}$$

$$\text{たゞし } V = \text{幹材積}, \quad D = \text{胸高直径},$$

$$H = \text{樹高}, \quad b_1, b_2 = \text{常数},$$

の関係があるとみるとみることができる。従つて幹材積を胸高直径と樹高の二因子により変化するとすれば、

$$V \propto d^{b_1} h^{b_2}$$

よつて山本和蔵氏による一般材積式が適當である。

$$V = ad^{b_1} h^{b_2} \dots \dots \dots \quad (1)$$

(1)式の対数をとれば、

$$\log V = \log a + b_1 \log d + b_2 \log h \dots \dots \dots \quad (2) \text{で表される。}$$

### 2. 材積式の計算

(2)式において  $\log V = Y$ ,  $\log d = X_1$ ,  $\log h = X_2$  とすれば、

$$Y = a' + bX_1 + cX_2, \quad \text{この式の } a, b, c, \text{ を求める為に検算付最小二乗法用いた。}$$

正規方程式は 1)  $na' + bSX_1 + CSX_2 = SY$

$$2) a'SX_1 + bSX_1^2 + CSX_1 X_2 = SX_1 Y$$

$$3) a'SX_2 + bSX_1 X_2 + CSX_2^2 = SX_2 Y$$

$$4) a'SY + bSX_1 Y + CSX_2 Y = SY^2$$

### 3. 資料の吟味

前項で求めた  $a'$ ,  $b_1$ ,  $b_2$  を用いて全資料について吟味した、  $Y - \bar{Y}$  を求めた。

$$\bar{Y} = a' + b_1 X_1 + b_2 X_2$$

$$\bar{Y} = -4.296087 + 1.903680X_1 + 0.966005X_2$$

次式により棄却帯を計算し、  $\Sigma yx_1 x_2 < Y - \hat{Y}$  となる資料を棄却した。

$$\Sigma yx_1 x_2 = t \cdot Syx_1 x_2 \left[ 1 - \left\{ \frac{1}{n} + C_{2,2}(X_1 - \bar{X}_1)^2 + C_{2,2}(X_2 - \bar{X}_2)^2 \right. \right.$$

$$\left. \left. + 2C_{2,2}(X_1 - \bar{X}_1)(X_2 - \bar{X}_2) \right\} \right]^{\frac{1}{2}}$$

但し、  $C$  乗数は

$$C_{1,1} = -0.027561$$

$$C_{1,2} = 0.017616$$

$$C_{2,2} = 0.034848$$

吟味の結果、棄却された資料は 2.0008 本の中、第 4 表に掲上した 104 本であった。

棄却木を除いた 1.904 本の直径階・樹高階別本数分配及び平均材積表は第 5 表の I 及び II の通りである。

#### 4. 桑却後の材積式の計算

吟味を終つた資料 1.904本を用いて、前項と同要領により、回帰係数の標準偏差および、有意性の検定、並に重相関、偏相関係数の計算、検定を行つた計算過程は第6表(1~6)の通りである。

##### 回帰係数の標準偏差および有意性の検定

C乗数は

$$C_{1z} = 0.0318882$$

$$C_{1s} = 0.0199300$$

$$C_{2s} = 0.0385143$$

$$\text{回帰係数 } b_1 \text{, } b_2 \text{ は } \quad b_1 = 1.893557$$

$$b_2 = 0.995970$$

##### 1) 回帰係数の標準偏差

$$Sb_1 = S_{yx_1 x_2} \sqrt{c_{11}} = 0.0080911$$

$$Sb_2 = S_{yx_1 x_2} \sqrt{c_{22}} = 0.0088921$$

##### 2) 回帰係数、有意性の検定

$$tb_1 = b_1 / sb_1 = 234.029612 **$$

$$tb_2 = b_2 / sb_2 = 112.006163 **$$

この結果、回帰係数は極めて有意である。

##### 重相関係数と偏相関係数

調製要綱解説書 p33~p34 にならつて計算した重相関係数を第8表に掲上したがこれの有意性を検定するところの通りである。

##### 重相関係数有意性の検定

変動因	自由度	平方和	平均平方
回 帰	2	1135.872920	567.936460
推 定 誤 差	1.899	3.903190	0.002055

$$F = \frac{567.936460}{0.002055} = 27636.8107 > F_{\frac{1}{2000}}^*(0.05)$$

この結果、重相関係数は極めて有意である。よつて重回帰  $V = a + b_1 X_1 + b_2 X_2$  を用いたことは大いに有効であった。

偏相関係数、：二つの偏相関係数は次の計算の通り、樹高の変動を無視した場合の材積対直径と、直径の変動を無視した場合の材積対樹高との関係は前者が大きく、後者が小である。よつて材積に直径のおよぼす影響は大である。

$$r Y X_1 \cdot X_2 = \frac{r Y X_1 - r Y X_2 \cdot r X_1 X_2}{\sqrt{(1 - r Y X_1^2)(1 - r X_1 X_2^2)}} = 0.979677$$

$$r Y X_2 \cdot X_1 = \frac{r Y X_2 - r Y X_1 \cdot r X_1 X_2}{\sqrt{(1 - r Y X_2^2)(1 - r X_1 X_2^2)}} = 0.835554$$

### 5. 10cm 直径級別・材積式の比較

調製要綱に基き 10cm 毎の直径級に区分して材積式を計算その後において統計的方法で一括出来る直径級を検定の上、支障のない直径級は一括して材積式を求めた。但し 52cm 以上は資料不足のため一括検算付最小二乗法で、直径級毎に計算したものが、第7表（その1～その6）である。又各種検定を行うに必要な平方和、積和、相関係数等をとりまとめ第8表に掲上した。

#### (1) 分散の一様性の検定

直 径 級	$n$	$f_r$	$\frac{(q^2)}{Sdyx_1 x_2^2}$	$Syx_1 x_2^2$	$\log(syx_1 x_2^2)$
4 ~ 10	426	423	0.991802	0.002345	3. 370143
12 ~ 20	390	387	0.916641	0.002369	3. 374565
22 ~ 30	298	295	0.546727	0.001853	3. 267875
32 ~ 40	354	351	0.789571	0.002249	3. 351990
42 ~ 50	254	251	0.050080	0.000200	4. 301030
52 ~ 80	182	179	0.454431	0.002539	3. 404663
4 ~ 80	1,904	1,901	3.903190 (3.749252)	0.002053	3. 312389

直 径 級	$f_r \cdot \log(syx_1 x_2^2)$	$\frac{1}{f_r}$
4 ~ 10	-1112.429511	0.002364
12 ~ 20	-1016.043345	0.002584
22 ~ 30	-805.576875	0.003390
32 ~ 40	-929.451861	0.002849
42 ~ 50	-928.441470	0.003984
52 ~ 80	-464.565323	0.005587
4 ~ 80	-5109.148511 (-5256.908385)	0.000525 (0.020758)

回帰係数間差の検定を行うに先だって各直径級の分散の一様性について検定するため、パートレットの検定を行った。即ち各直径級の偏差平方和、 $sdyx_1 x_2^2$  を  $q_1^2, q_2^2, \dots, q_t^2$  とし、自由度を  $f_1, f_2, \dots, f_t$  とすると

$$q^2 = q_1^2 + q_2^2 + \dots + q_t^2$$

$$f_r = f_1 + f_2 + \dots + f_t$$

$$S^2 = \frac{q^2}{F} \quad S_r^2 = \frac{q_r^2}{f_r} \quad \text{とすれば,}$$

$$X^2 = \frac{1}{M} \left[ (\Sigma f_r) (\log S^2) - \Sigma f_r \log S_r^2 \right]$$

但し,  $M = \log_{10} e = 0.43429$

$$\therefore -\frac{1}{M} = 2.3026$$

この値を修正項Cで除して,

$$x^2 = \frac{2.3026}{c} \left[ (\Sigma f_r) (\log s^2) - \Sigma f_r \log s^2 r \right]$$

$$C = 1 + \frac{1}{3(k-1)} \left[ \frac{1}{f_r} - \frac{1}{f} \right] \text{ で与へられこの } x^2 \text{ は, 自由度は } (k-1) \text{ の } x^2 \text{ 分布に}$$

従うので, 算出された  $x^2$  の値と  $x^2$  表の値とを比較した。

i ) 4~80cmの直径級を一括した場合,

$$s^2 = \frac{\Sigma q^2}{\Sigma f_r} = \frac{3.749252}{1.886} = 0.001988$$

$$\begin{aligned} \Sigma (f_r \times \log s^2 r) &= 1.886 \times \log(0.001988) \\ &= 1.886 \times (-2.0701584) \\ &= -5095187424 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{修正 } x^2 &= \frac{2.3026}{c} (-5095.186670 + 5256.908034) \\ &= \frac{2.3026}{1.001348} \times 161.720610 = 372.3779 \end{aligned}$$

$$\text{但し } C = 1 + \frac{1}{3 \times 5} (0.020758 - \frac{1}{1886}) = 1.001348$$

この値に相当する  $p(x^2)$  は0.01以下であるから分散が一様であるという仮説は捨てられ, この結果 4~80cm直径級は一括することは出来ない。

ii ) 4~40cmを一括した場合,

$$s^2 = \frac{3.244741}{1456} = 0.002229$$

$$\Sigma (f_r \times \log s^2 r) = 386.3901241$$

$$f \log s^2 = 1456 \times -2.651890 = 3861.151840$$

$$x^2 = 2.3026 \{2.749401\} = 6.3308$$

$$C = 1 + \frac{1}{9} \{0.011687 - 0.006868\}$$

$$= 1 + \frac{1}{9} (0.004819) = 1.000536$$

$$x_c^2 = 6.327$$

$p(x^2)$  が (0.05) 以上であるので, 分散が一様であると云う仮説は捨てられない。

検定の結果分散は,

$$\left. \begin{array}{l} 4 \sim 10 \\ 12 \sim 20 \\ 22 \sim 30 \\ 32 \sim 40 \end{array} \right\} \text{ が一様であることが分った。}$$

## (2) 回帰係数間の有意性の検定

分散の一様性の検定において等分散と認められたクラスについて、回帰係数間の有意性の検定を行へばよい。

(1) 4~40cm直径級を一括した場合、

$$k = 4$$

$$\sum^4 (Sx_1^2)_t = 9.560231, \quad \sum^4 (Sx_2^2)_t = 10.472581,$$

$$\sum^4 (Sx_1 x_2)_t = 5.657886, \quad \sum^4 (Sx_1 y)_t = 23.220779,$$

$$\sum^4 (Sx_2 y)_t = 20.835648, \quad \sum^4 (Sy^2)_t = 66.747948,$$

$$q^2 = \sum^4 (Sdyx_1 x_2^2)_t = 3.244741, \quad \sum^4 (S\hat{y}^2)_t = 63.503207,$$

$$\sum^4 (f_r = 1.456$$

$$b_1 = \frac{\sum (Sx_2^2) \sum (Sx_1 y) - \sum (Sx_1 x_2) \sum (Sx_2 y)}{\sum (Sx_1^2) \sum (Sx_2^2) - \sum (Sx_1 x_2)^2} = 1.839646$$

$$b_2 = \frac{\sum (Sx_1^2) \sum (Sx_2 y) - \sum (Sx_1 x_2) \sum (Sx_1 y)}{\sum (Sx_1^2) \sum (Sx_2^2) - \sum (Sx_1 x_2)^2} = 0.995661$$

$$S\hat{y}^2 = b_1 \left\{ \sum (Sx_1 y)_t \right\} + b_2 \left\{ \sum (Sx_2 y)_t \right\} = 63.463255$$

$$q'^2 = \bar{q}^2 - q^2 = 0.039952$$

$$\bar{q}^2 = \sum^4 (Sy^2)_t - b_1 \left\{ \sum (Sx_1 y)_t \right\} - b_2 \left\{ \sum (Sx_2 y)_t \right\} = 3.284693$$

この数値を用いて分散分析を行つたところ次の通り、

予備的分散分析表

変動因	自由度	平方和
回帰		63.503207
誤差	8	3.244741
計	1.456	66.747948

分散分析表

変動因	自由度	平方和	平均平方
全回帰	2	63.463255	
回帰間差	6	0.039952	0.006659
回帰計	8	63.503207	
誤差	1.456	3.244741	0.002229
計	1.464	66.747948	

$$F = \frac{S'^2}{S^2} = 2,987 > F_{\frac{6}{1464}}^{**}(0.01) = 2.82$$

よつて回帰係数間に有意差があることが分る。

(2) 12~40cm直径級を一括した場合、

$$k = 3 \quad \Sigma^s (f_r) = 1.033$$

$$\Sigma^s (Sx_1^2)_t = 3.434295 \quad \Sigma^s (Sx_2^2)_t = 6.020256$$

$$\Sigma^s (Sx_1 x_2)_t = 2.046554 \quad \Sigma^s (Sx_1 y)_t = 8.603586$$

$$\Sigma^s (Sx_2 y)_t = 10.011513 \quad \Sigma^s (Sy^2)_t = 28.781241$$

$$q^2 = \Sigma^s (dyx_1 x_2^2)_t = 2.252939 \quad \Sigma^s (S\hat{y}^2)_t = 26.528302$$

$$b_1 = 1.898877$$

$$b_2 = 1.017458$$

$$S\hat{y}^2 = 26.523446$$

$$q'^2 = 0.004856$$

予備的分散分析表

変動因	自由度	平方和
回帰差	6	26.528302
誤差	1.033	2.252939
計	1.039	28.781241

分散分析表

変動因	自由度	平方和	平均平方
全回帰		26.523446	
回帰間差	4	0.004856	0.001214
回帰計	6	26.528302	
誤差	1.033	2.252939	0.002181
計	1.039	28.781241	

$$F = \frac{S'^2}{S^2} = 0.5566 < F_{\frac{4}{1098}}(0.05) = 2.37$$

念のため逆数をとつてみる、

$$F = 1.796 < F_{\frac{4}{1098}}(0.05) = 5.63$$

回帰係数間には差のない事が分つたが、次に回帰平面間の高さの差の検定を行う。

## 資料を込みにした場合の分散分析表

 $n = 1.042$ 

変動因	自由度	平方和
回帰	2	212.124193
回帰間差	4	0.004856
誤差	1.035	2.260425
計	1.041	214.389474

## 誤差分割

	平方和	自由度
誤差	2.260425	1.035
原因不明	2.252939	1.033
平面間差	0.007486	2

但し、

$b_1 = 1.927928$

$b_2 = 1.012729$

## 完成された分散分析表

変動因	自由度	平方和	平均平方
回帰	2	212.124193	
回帰間差	4	0.004856	
平面間差	2	0.007486	0.003743
不明	1.033	2.252939	0.002181
計	1.041	214.389474	

$F = \frac{S^2}{S^2} = \frac{0.003743}{0.002181} = 1.716 < F_{1,041}^*(0.05) = 2.37$

即ち、回帰常数間にも有意差がない、よつて 12~40cm 直径級は一括して次の回帰式で代表できる。

$\log v = -4.386299 + 1.927928 \log d.$

$+ 1.012729 \log h,$

## 予備的分散分析表

変動因	自由度	平方和
回帰	4	4.757991
誤差	430	0.504511
計	434	5.262502

## 6. 検定の結果と材積式の決定

前項の検定の結果は下表に示す。よって 4~10cm のクラス, 12~40cm のクラス, 42~50cm のクラス  
52~80cm のクラスでそれぞれ回帰式を求める必要のあることが分った。

直径級 <i>cm</i>	本数 本	修正 $X^2$	回帰係数間の差の検定				回帰常数間の差の検定				
			平均された回帰係数		回帰間 分散	誤差分散	<i>F</i>	込みにした回帰係数		不明原因	<i>E</i>
			$b'_{1x}$	$b'_{2x}$				$b'_{1z}$	$b'_{2z}$		
4以上	1,904	371.879	**				*				
4~40	1,468	7.042	1.839646	0.953551	0.152890	0.002229	68.591				
12~40	1,042	12.695 <i>F</i> (0.05)	> 1.898877	1.017458	0.001214	0.002181	0.556	1.927928	1.012729	0.003743	0.002181
42~80	436										
52~80	182										

直径級別材積式は次の通りである。

決定材積式       $v \dots \dots \dots$  幹材積,  
 $b \dots \dots \dots$  胸高直径,  
 $h \dots \dots \dots$  樹高,

直径級	本数	材積式
4 ~ 10	426	$\log v = -4.165143 + 1.826113 \log d + 0.949939 \log h$
12 ~ 40	1,042	$\log v = -4.386298 + 1.927927 \log d + 1.012729 \log h$
42 ~ 50	254	$\log v = -4.336978 + 1.848224 \log d + 1.066034 \log h$
52 ~ 80	182	$\log v = -4.429987 + 2.008451 \log d + 0.929288 \log h$

なお本材積式は直径・樹高・材積を夫々対数に変換して計算しているので、これにより生ずる偏りを含んでるので、修正係数を計算して修正しなければならない。

修正係数の算出は、

$$f = 10^{\frac{h-1}{n}} (1.151293) Slogy^2$$

但し、 $f \dots \dots \dots$  修正係数,       $n \dots \dots \dots$  資料の数

$Slogy^2 \dots \dots \dots$  対数の推定の誤差の分散,

求められた材積式別修正係数は

直径級	修正係数
4 ~ 10cm	1.0062
12 ~ 40	1.0058
42 ~ 50	1.0005
52 以上	1.00669

## 7. 材積表の適合度

本材積表の適合度を誤差率によって示すと次の通りである。

$$\text{誤差率 \%} = \frac{\text{標準誤差} \times t}{\text{平均 値}} \times 100$$

$t = 95\%$  信頼度の  $t$  分布表の値

木材積表は対数を用いた式を採用したが、誤差率は真数で求めたものである。

なお標準誤差は次の式によつた。

$$\text{標準誤差} = \left\{ \frac{1}{n - (k+1)} \times (V - \hat{V})^2 \right\}^{\frac{1}{2}} \cdot \sqrt{\frac{1}{n}}$$

$V$  = 実材積,  $K$  = 独立変量の個数,

直 径 範 囲	標準 誤 差	誤 差 率 %
4 ~ 10	0.000190	1.49
12 ~ 40	0.001964	0.82
42 ~ 50	0.009714	1.33
52 ~ 上	0.023767	1.81

## 8. 材積表使用上の注意

- 1) 本表は函館営林局管内のブナに適用する。
- 2) 本表は毎木の胸高直径（地上 1.2m旧材積表では 1.3m）樹高を測定して幹材積を求める。
- 3) 本表は胸高直径 2cm, 樹高 1m ごとに区分し、幹材積は  $m^3$  単位とし、4捨5入して単位以下3位に止めたものである。
- 4) 本表は次の材積式で算出した値に修正係数を乗じて求めたものである。

直径範囲	材 積 式	修正係数
4 ~ 10	$\log v = -4.165143 + 1.826113 \log d + 0.949939 \log h$	1.0062
12 ~ 40	$\log v = -4.386298 + 1.927927 \log d + 1.012729 \log h$	1.0058
42 ~ 50	$\log v = -4.336978 + 1.848224 \log d + 1.066034 \log h$	1.0005
52 以上	$\log v = -4.429987 + 2.008451 \log d + 0.929288 \log h$	1.00669

- 5) 材積式間の移行でアンバラの数値があった部分は 12cm と、40cm~42cm 間と、46cm~54cm 間で、何れも図上修正によつて平滑とした。

## 9. 新材積表と旧材積表及び平均材積表との比較

新しく調製したブナ材積表と当局で、現在使用中の材積表の数値の比較、及び平均材積との比較のため、第4図を以て示した。

但し、現行材積表は、胸高直径 1.3m であり、新材積表は胸高直径 1.2m である。

V. 調製年月日および  
調製担当者職氏名

1. 調製年月日 昭和35年5月30日

2. 調製担当者職氏名

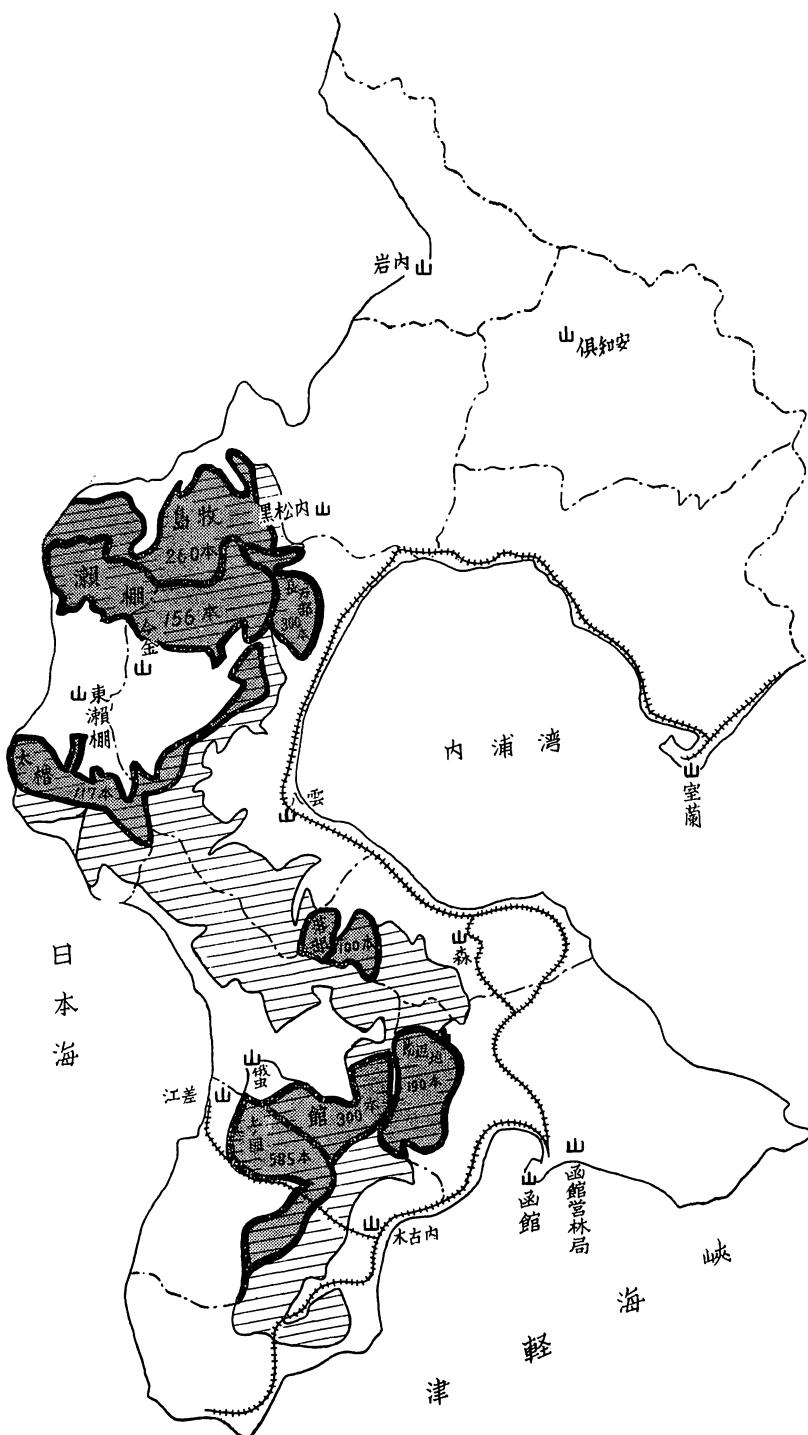
前々計画課長	小	畠	俊	吉
前 タ	長	井	啓	三
計画課長	梅	本	昌	一
試験調査係長	諫	訪	実	行
係 員	大	内	陽	子
タ	木	村	弘	子
元 係 員	白	鳥	吉	勝
タ	鈴	木		勇
タ	小	笠	原	弘

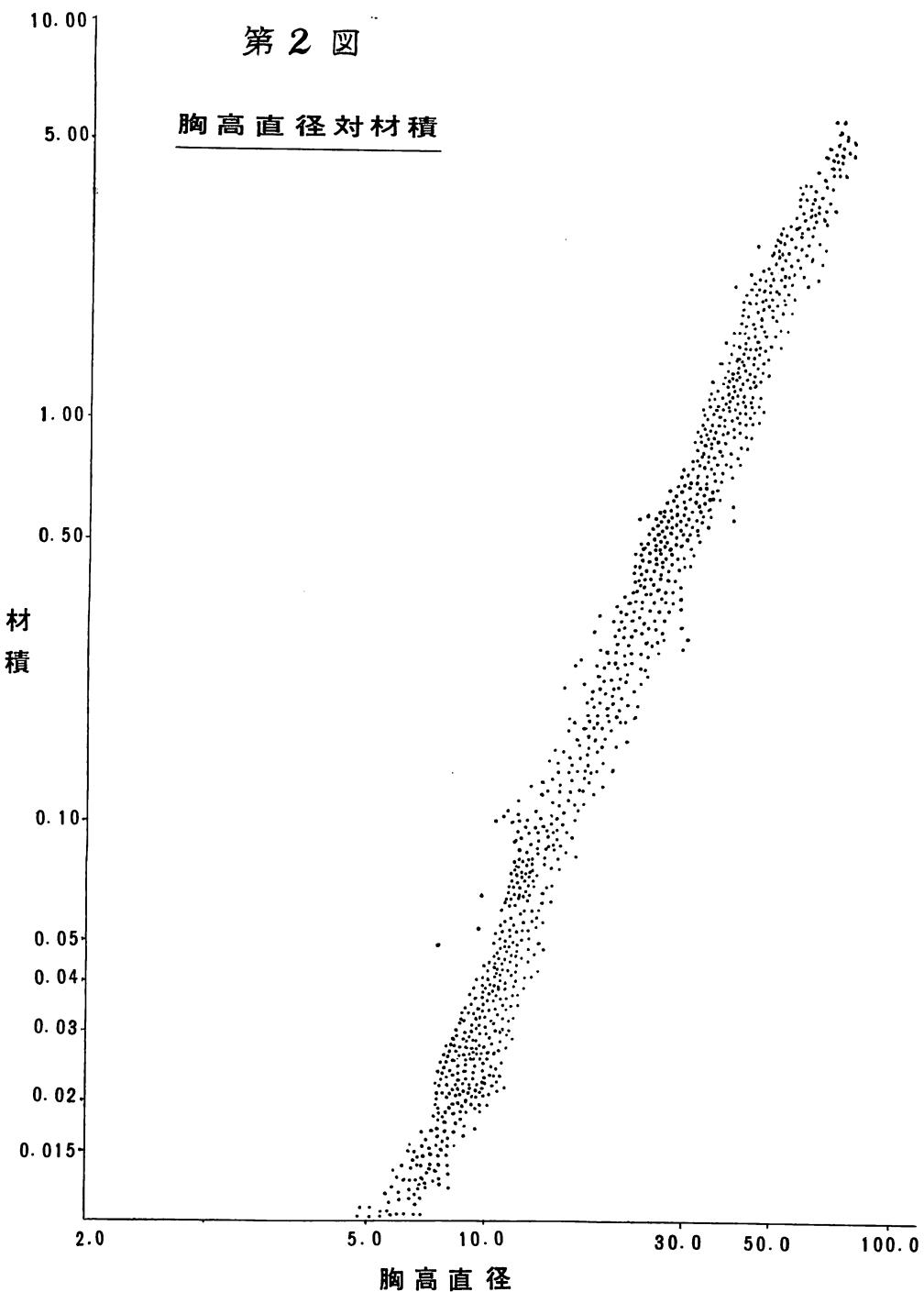
VI. 引用並に参考文献

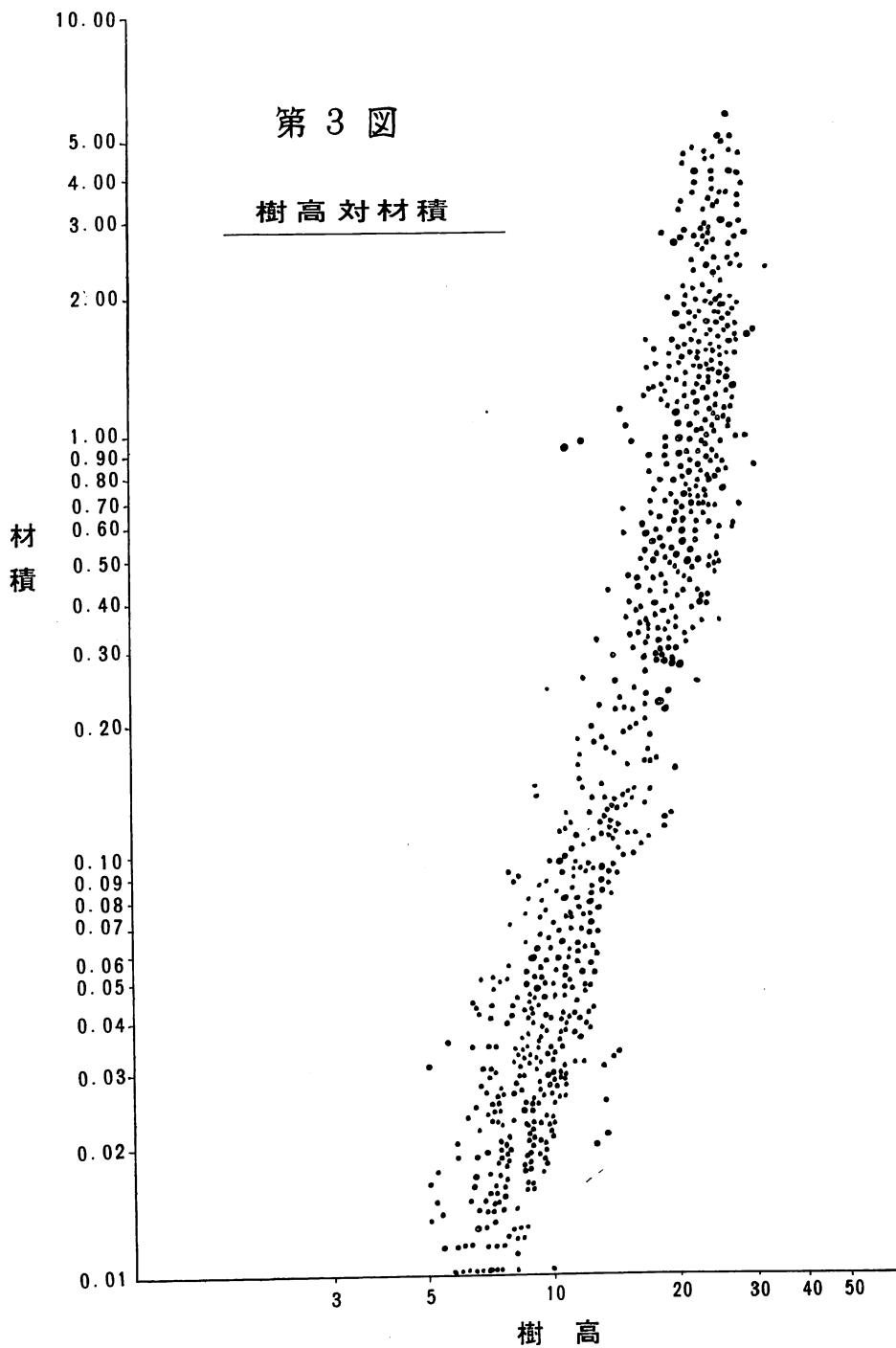
1. 函館営林局管内概要
2. 主要樹種立木材積表調製要綱 林野庁
3. 立木材積表調製方法解説書 林学試験場
4. 推計学を基にした測樹学 木業謙吉
5. 青森営林局広葉樹立木材積表調製説明書 林野庁編
6. 長野営林局カラマツ立木材積表調製説明書 //
7. 高知営林局スギ人工林 //
8. 名古屋営林局スギ人工林 //

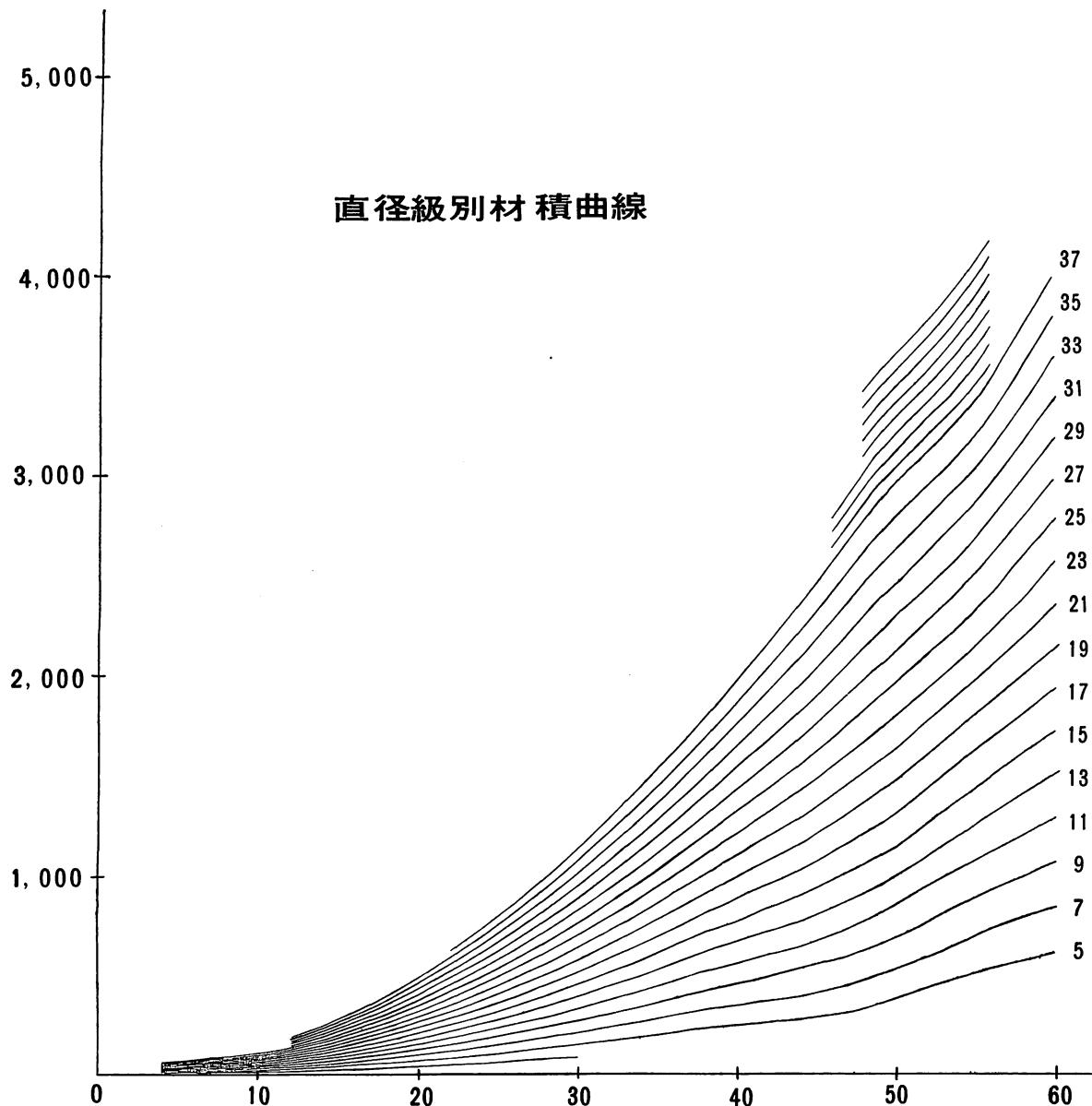
附表  
及び  
附図

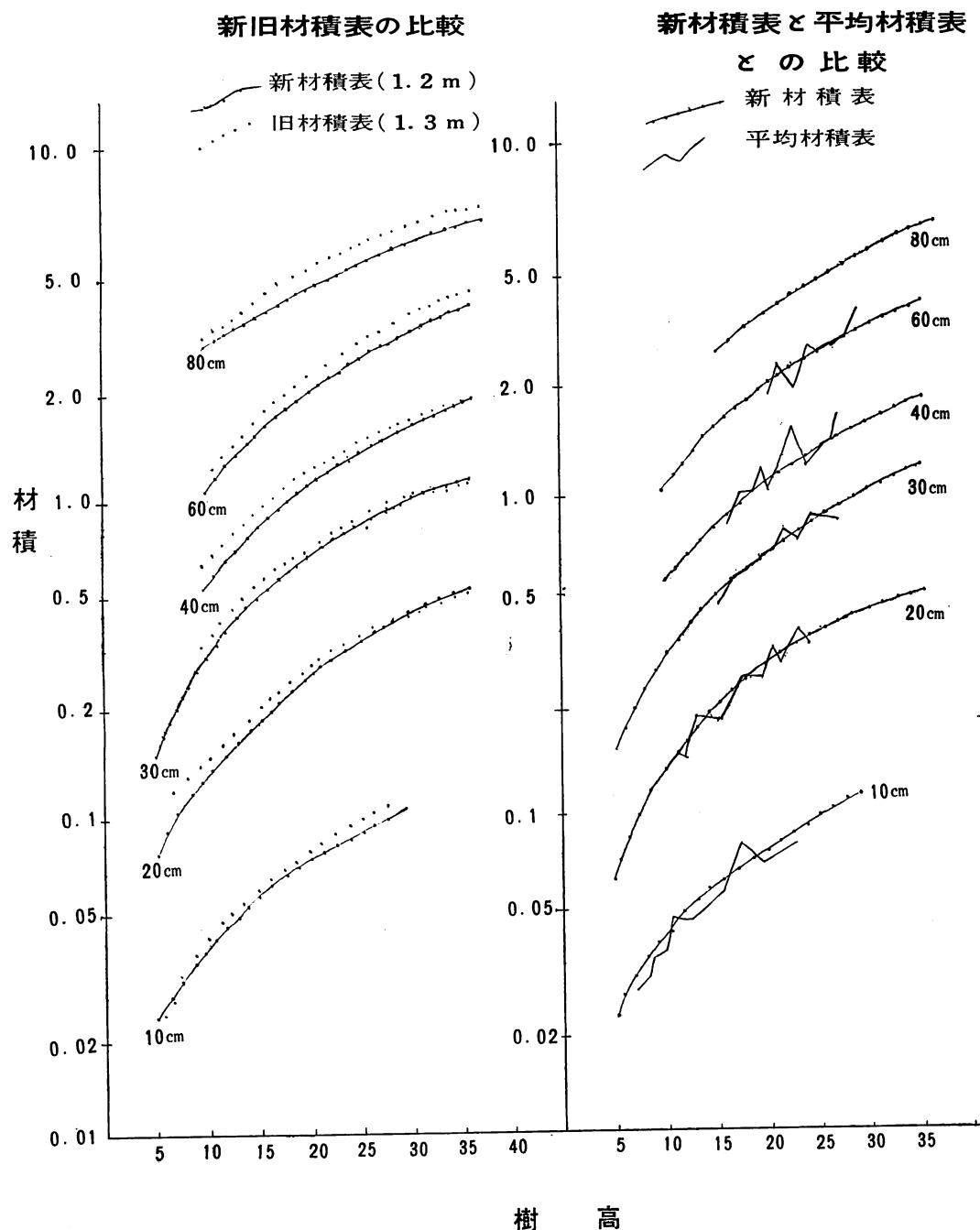
第1図  
資料収集箇所位置図











第2表 直径階・樹高階別本数分配表（資料棄却前）

樹高m	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40
直 径 cm																			
4	3	1																	
5	9	10	2			1													
6	18	28	6	3	1														
7	11	39	26	14	6	2	1												
8	2	22	21	14	11	3	2	1											
9	2	15	37	33	20	14	3	4											
10	3	26	36	17	14	5													
11	1	14	28	20	28	8	9	3	2										1
12		3	13	19	9	6	1	2					1						
13		4	6	18	22	16	10	7	2	2	2	3							
14		2	3	12	11	12	9	1	1	1	3		2		1	1	1	1	
15			1	8	13	4	8	6	8	3	5		2	4	2	2	1	1	
16			1	2	5	10	2	7	2	10	7		7	1	1	1	1	1	
17			2	3	8	6	8	11	9	8	8		4	7	3		5		
18			1		5	1	3	5	4	6	7	10	6	5	3	5	2		
19				1			4	1	8	13	12	13	13	11	9	10	3		
20					1		2	4	6	5	8	15	11	11	8	6	5		
21						1		1	6	3	6	13	8	12	14	13	19	17	
22							1		2	1	4	7	12	16	9	13	12	10	
23								2			4	1	5	8	13	9	17		
24									1		2			6	4	6	3	3	
25										1				2	1	2	3	5	
26													1			1	1	1	
27														2					
28																			
29																			
30																			
31																			
32																			
計	45	119	141	150	127	117	81	57	42	44	49	62	73	83	80	76	72	68	72

42	44	46	48	50	52	54	56	58	60	62	64	66	68	70	72	74	76	78	80	計
																				4
																				22
																				56
																				99
																				76
																				128
																				101
																				114
																				54
																				90
																				58
																				67
																				62
3	1		1																	89
1	1		1	1	2															70
2		2	1			2														126
10	5	4	3	2	2	2														116
7	7	8	3	4	1	1	1		1				1							165
6	11	12	4	3	3	3	3	2	3					1	1					141
13	10	8	3	5	2	3	6	1					1	1						146
11	12	9	11	4	11	10	6	2	3	3				2	1	1				78
2	8	4	6	5	5	2	8	2	1	2	1	2								63
7	2	2	5	5	6	5	3	1	3	2	2	2	1	2	1					35
1	4	4	1	6	4		4	1	2		1						1	2		23
2	1	1	3	1	1		2		3	1	1			3	1					12
3					1	1	2		1	1	1			1		2	1	1		8
					1								1		1					4
																				1
68	62	54	42	37	39	31	31	14	16	12	6	6	8	9	4	4	3	3	1	2,008

第3表 検算付最小自乗法による回帰係数、  
ぶな(棄却前) 及標準偏差の算出

	4 ~ 80	A	B	C	1
1	$\left[ n \right]$ 2008	$\left[ X_1 \right]$ 2666.7762	$\left[ X_2 \right]$ 2361.8142	$\left[ Y \right]$ -1268.33328	
2	$\left[ X_1 \right]$ 2666.7762	$\left[ X_1^2 \right]$ 3746.001879	$\left[ X_1 X_2 \right]$ 3249.328464	$\left[ X_1 Y \right]$ 1186.650973	
3	$\left[ X_2 \right]$ 2361.8142	$\left[ X_1 X_2 \right]$ 3249.328464	$\left[ X_2^2 \right]$ 2850.240423	$\left[ X_2 Y \right]$ -1207.535280	
4	$\left[ Y \right]$ -1268.33328	$\left[ X_1 Y \right]$ -1186.650973	$\left[ X_2 Y \right]$ -1207.535280	$\left[ Y^2 \right]$ 2029.814351	
5	$I \times -\frac{X_1}{n}$ -1.32807580	-2666.7762	-3541.680935	-3136.668283	1684.442736
II	$2 + 5$	0	$Sx_1 x^2$ 204.320944	$Sx_1 x_2$ 112.660181	$Sx_1 y$ 497.791763
6	$I \times -\frac{X_2}{n}$ -1.17620229	-2361.8142	-3136.668283	-2777.971206	1491.816508
	$3 + 6$	0	$Sx_1 x_2$ 112.660181	$Sx_2^2$ 72.269217	$Sx_2 y$ 284.281228
7	$II \times -\frac{Sx_1 x_2}{Sx_1^2}$ -0.55138831		-112.660181	-62.119507	-274.476559
III	$3+6+7$		0	$\xi$ 10.149710	$\eta$ 9.804669
8	$I \times -\frac{Y}{n}$ 0.63164008	1268.33328	1684.442736	1491.816508	-801.130134
	$4 + 8$	0	$Sx_2 y$ 497.791763	$Sy^2$ 284.281228	1228.684217
9	$II \times -\frac{Sx_1 y}{Sx_1^2}$ -2.43632274		-497.791763	-274.476559	-1212.781392
	$4+8+9$		0	9.804669	15.902825
10	$III \times -\frac{\xi}{\eta}$ -0.96600484			-9.804669	-9.471358
IV	$4+8+9+10$			0	6.431467
$b_2$	0.966005				
$b_1$	1,903680				
$a'$	-4.296087				
			$S_{yx_1 x_2^2} = \frac{6.431467}{2.008-3} = 0.00320771$		

C <sub>1</sub>	C <sub>2</sub>	C <sub>3</sub>	計
1	1	1	
-1.328076			
-1.328076	1		
-1.176202			
-1.176202		1	
0.732286	-0.551388		
-0.443916	-0.551388	1	
0.631640			
0.631640			
3.235622	-2.436323		
3.867262	-2.436323		
0.428825	0.532643	-0.966005	
4.296087	-1.903680	-0.966005	

第4表 棄却された資料 (その1)

資料番号	直径階	直 径	樹 高	材 積	資料番号	直径階	直 径	樹 高	材 積
17	4	3.8	5.3	0.0026	439	10	10.0	10.7	0.0264
27	〃	3.3	7.2	0.0048	1.522	12	11.25	10.30	0.0862
34	〃	4.3	5.5	0.0069	50	〃	11.3	9.3	0.0321
61	〃	3.3	5.2	0.0029	239	〃	12.8	11.8	0.0541
64	〃	4.6	7.0	0.0046	307	〃	11.3	9.1	0.0320
89	〃	4.0	8.8	0.0078	332	〃	11.5	9.5	0.0616
275	〃	3.0	5.7	0.0029	1.753	〃	12.0	18.0	0.0441
1.667	〃	3.0	5.2	0.0026	346	〃	11.0	5.5	0.0389
1.536	〃	4.0	5.7	0.0058	348	〃	11.3	6.8	0.0483
1.534	〃	4.0	3.9	0.0042	454	〃	11.0	7.3	0.0251
1.617	6	5.25	5.2	0.0081	400	〃	11.3	7.7	0.0227
1.644	〃	6.75	7.6	0.0101	1.979	14	13.0	9.7	0.0441
1.691	〃	6.00	10.20	0.0108	1.798	〃	14.2	11.1	0.1075
234	〃	5.5	9.0	0.0160	74	〃	13.3	12.7	0.0600
265	〃	6.5	8.8	0.0198	302	〃	13.0	13.8	0.0593
287	〃	5.0	7.1	0.0095	311	〃	13.0	10.6	0.0500
293	〃	6.5	8.8	0.0203	340	〃	13.8	11.0	0.0480
391	〃	5.8	4.5	0.0081	350	〃	13.8	9.2	0.0468
392	〃	5.3	5.7	0.0090	382	〃	14.0	8.5	0.0436
1.556	〃	5.0	6.2	0.0088	406	〃	14.5	9.1	0.0494
1.538	〃	5.0	5.2	0.0071	421	〃	13.3	11.3	0.0989
435	8	8.0	5.9	0.0200	433	〃	14.0	11.3	0.0612
1.614	〃	8.3	8.8	0.0305	494	〃	13.8	9.3	0.0959
1.702	〃	8.0	7.9	0.0265	495	〃	13.8	9.8	0.0498
1.767	〃	7.6	7.2	0.0120	1.925	〃	13.8	13.1	0.0690
130	〃	8.3	14.4	0.0252	1.392	〃	14.0	13.8	0.0920
1.969	10	10.2	8.3	0.0490	1.408	16	16.0	10.0	0.0672
394	〃	10.8	7.8	0.0255	109	〃	15.3	14.5	0.0776

## 棄却資料 (その2)

資料番号	直径階	直 径	樹 高	材 積	資料番号	直径階	直 径	樹 高	材 積
316	16	16.3	9.0	0.0624	874	36	35.5	29.1	0.8449
343	〃	15.5	12.4	0.0750	1.840	38	38.1	22.9	0.7816
364	〃	16.8	9.2	0.0678	589	40	40.3	14.4	1.1523
141	〃	16.3	20.6	0.1116	591	〃	40.5	14.6	1.0113
298	18	17.5	11.3	0.0844	1.035	40	40.0	11.3	0.9770
467	〃	18.5	16.7	0.1380	1.100	〃	40.5	17.9	1.3694
322	20	19.0	13.1	0.1150	820	42	42.0	20.7	0.7822
472	22	21.0	12.8	0.1509	1.914	〃	41.0	22.3	1.6626
137	24	24.8	24.8	0.3774	954	〃	41.0	24.9	1.5943
692	26	25.0	13.4	0.2159	543	44	44.2	19.1	1.6021
791	〃	26.5	20.2	0.6362	657	〃	43.0	20.4	1.6974
1.237	28	28.0	21.2	0.4148	835	〃	43.5	16.0	0.7387
1.514	〃	27.75	17.0	0.3135	917	48	48.5	23.1	1.3137
190	〃	28.3	20.5	0.4154	640	50	50.3	21.6	2.2723
688	〃	27.8	14.4	0.2130	878	〃	50.0	21.1	1.2603
1.220	28	27.0	20.8	0.3672	675	54	53.2	21.1	1.4303
865	30	29.0	19.2	0.8183	1.164	56	56.5	23.5	1.3542
956	〃	29.5	19.9	0.7425	800	70	70.0	26.8	5.3718
1.110	〃	29.0	19.9	0.7368	1.319	72	72.0	29.6	3.3123
1.248	〃	29.8	16.7	0.6532	1.987	74	73.0	26.0	2.8658
1.488	32	31.0	20.0	0.8591					
1.376	〃	32.0	20.0	0.5000					
1.229	〃	32.8	21.5	0.9814					
1.903	〃	31.2	19.0	0.7850					
149	〃	32.0	24.4	0.6202					
930	〃	31.0	20.3	0.8558					
147	34	34.7	22.5	1.3274					
713	〃	33.8	15.4	0.4256					

第5表 I 直径階・樹高階別本数分配表（棄却後）

樹 高m \ 直 径 cm	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38
4	2	1																
5	6	7	2			1												
6	15	26	5	3														
7	9	38	25	14	4	2	1											
8	2	21	20	12	10	3	2	1										
9	1	12	36	33	18	10	1	4										
10		2	26	36	15	12	4											
11		1	14	27	20	22	8	8	3	2								
12			3	13	18	9	5	1	2		1							
13			4	6	18	20	16	10	6	1	2	2						
14				1	3	12	10	12	9	1	1	3		1		1	2	
15						1	8	12	4	8	6	8	3	5	2	4	1	2
16							1	2	5	10	2	7	2	10	7	7	1	1
17								2	3	7	6	8	11	9	7	7	4	3
18									5	1	3	5	4	6	7	10	6	5
19										1	1	8	13	12	12	12	9	10
20										1	2	4	6	4	8	13	8	6
21											1	6	3	6	10	8	12	14
22												2	1	4	7	12	15	9
23												1		4	1	5	7	13
24													2		6	3	6	3
25															1	2	1	1
26																2		
27																2		
28																		
29																		
30																		
31																		
32																		
計	35	108	136	147	117	102	75	55	41	43	48	60	68	79	74	74	71	67

40	42	44	46	48	50	52	54	56	58	60	62	64	66	68	70	72	74	76	78	80	計
																					3
																					16
																					49
																					93
																					71
																					115
																					95
																					105
																					52
																					85
																					54
																					64
1	3				1																61
5	1	1			1	1	2					1									86
1	2		2	1			2														68
3	10	4	4	3	2	2	2														123
5	7	6	8	3	4	1	1	1				1									109
17	5	11	12	4	2	3	2	3	2	3											158
10	12	10	8	3	4	2	3	6	1			1	1								138
17	11	12	9	10	4	11	10	6	2	3	3										143
3	2	8	4	6	5	5	2	7	2	1	2	1	2								76
5	6	2	2	5	5	6	5	3	1	3	2	2	2	1	2	1					61
1	1	4	4	1	6	4			4	1	2	1									34
2	1	1	1	3	1	1		2		3	1	1	3								22
3					1	1	2		1	1	1		1		2		1	1			12
					1		2				1				1		1	1			7
																				3	
																				1	
68	65	59	54	41	35	39	30	30	14	16	12	6	6	8	8	3	3	3	3	1	1.904

第5表 II 直径階・樹高階別・平均材積表（棄却済資料）

26	28	30	32	34	36	38	40	42	44	46	48
0.235											
0.306											
	0.292			0.429							
0.303	0.357	0.413	0.474	0.584	0.641						
0.364	0.420	0.481	0.448	0.637	0.848		0.788	0.969			1.045
0.401	0.467	0.501	0.556	0.655	0.747		0.913	0.998	1.006		1.111
0.379	0.477	0.543	0.620	0.651	0.727	0.840	0.936	0.837		0.968	1.040
0.419	0.511	0.562	0.631	0.730	0.763	0.834	1.025	1.030	1.228	1.178	1.383
0.466	0.503	0.604	0.688	0.767	0.886	1.078	0.983	1.191	1.316	1.444	1.074
0.466	0.557	0.682	0.749	0.837	0.960	1.021	1.104	1.176	1.253	1.371	1.493
0.478	0.537	0.635	0.736	0.800	0.984	1.042	1.566	1.196	1.302	1.599	1.519
	0.586	0.515	0.762	0.918	0.983	1.041	1.143	1.245	1.398	1.462	1.692
0.515		0.754	0.835	0.920	0.960	0.818	1.260	1.352	1.519	1.627	1.828
			0.930	0.892	1.098	1.266	1.304	1.344	1.487	1.699	1.867
			0.746		0.949	1.185	1.577	1.429	1.548	1.569	1.854
				0.833				1.331	1.605	1.700	2.115
								1.613			

第5表 Ⅱ 直径階・樹高階別・平均材積表（棄却済資料）〔続〕

72	74	76	78	80	
4.324	2.897		4.053		
3.852				3.992	
3.188		4.521			
			4.872		
			4.530		
4.285	4.129				
	5.464				

第6表 棄却後の最小二乗法による  
回帰係数及び標準誤差の計算

総	4 ~ 8 0	A	B	C	1
1		[ n ] 1904	[ X <sub>1</sub> ] 2542.6791	[ X <sub>2</sub> ] 2249.4355	[ Y ] -1165.64679
2		[ X <sub>1</sub> ] 2542.6791	[ X <sub>1</sub> <sup>2</sup> ] 3584.653299	[ X <sub>1</sub> X <sub>2</sub> ] 3107.976572	[ X <sub>1</sub> Y ] -1095.093878
3		[ X <sub>2</sub> ] 2249.4355	[ X <sub>1</sub> X <sub>2</sub> ] 3107.976572	[ X <sub>2</sub> <sup>2</sup> ] 2723.846320	[ X <sub>2</sub> Y ] -1114.179830
4		[ Y ] -1165.64679	[ X <sub>1</sub> Y ] -1095.093878	[ X <sub>2</sub> Y ] -1114.179830	[ Y <sup>2</sup> ] 1853.396090
5	I × $-\frac{X_1}{n}$ -1.33544070	-2542.6791	-3395.597157	-3003.987719	1556.652165
II	2 + 5	0	Sx <sub>1</sub> <sup>2</sup> 189.056142	Sx <sub>1</sub> x <sub>2</sub> 103.988853	Sx <sub>1</sub> y 461.558287
6	I × $-\frac{X_2}{n}$ -1.18142621	-2249.4355	-3003.987719	-2657.542057	1377.125669
	3 + 6	0	103.988853	Sx <sub>2</sub> <sup>2</sup> 66.304263	Sx <sub>2</sub> y 262.945839
7	II × $-\frac{Sx_1 x_2}{Sx_1^2}$ -0.55004218		-103.988853	-57.198255	-253.876526
III	3 + 6 + 7		0	ξ 9.106008	η 9.069313
8	I × $-\frac{Y}{n}$ +0.61220945	1165.64679	1556.652165	1377.125669	-713.619980
	4 + 8	0	461.558287	Sx <sub>2</sub> y 262.945839	Sy <sup>2</sup> 1139.776110
9	II × $-\frac{Sx_1 y}{Sx_1^2}$ -2.44138213		-461.558287	-253.876526	-1126.840154
	4 + 8 + 9		0	9.069313	12.935956
10	III × $-\frac{\eta}{\xi}$ -0.99597024			-9.069313	-9.032766
IV	4 + 8 + 9 + 10			0	Sdyx <sub>1</sub> x <sub>2</sub> <sup>2</sup> 3.903190
b <sub>2</sub>	0.995970				
b <sub>1</sub>	1.893557				
a'	-4.317607				
			Sy <sub>x<sub>1</sub></sub> x <sub>2</sub> <sup>2</sup> = $\frac{3.903190}{1901} = 0.002053$		
				S $\hat{y}^2$ = 1139.776110 - 3.903190 = 1135.872920	

$C_s$	$C_x$	$C_y$	計
1	1	1	
-1.335441			
-1.335441	1		
-1.181426			
-1.181426		1	
0.734549	-0.550042		
-0.446877	-0.550042	1	
0.612209			
0.612209			
3.260322	-2.441382		
3.872531	-2.441382		
0.445076	0.547825	-0.995970	
4.317607	-1.893557	-0.995970	

第7表 棄却後の直径級別・最小二乗法による  
(その1) 回帰係数及び標準偏差の計算

$$\log y = \log a + b \log x_1 + c \log x_2$$

	4 ~ 10	A	B	C	1
1		[ n ] 426	[ X <sub>1</sub> ] 373.9802	[ Y <sub>2</sub> ] 390.9346	[ Y ] -740.21363
2		[ X <sub>1</sub> ] 373.9802	[ X <sub>1</sub> <sup>2</sup> ] 334.438587	[ X <sub>1</sub> X <sub>2</sub> ] 346.808044	[ X <sub>2</sub> Y ] -635.207315
3		[ X <sub>2</sub> ] 390.9346	[ X <sub>1</sub> X <sub>2</sub> ] 346.808044	[ X <sub>2</sub> <sup>2</sup> ] 363.207867	[ X <sub>2</sub> Y ] -668.460179
4		[ Y ] -740.21363	[ X <sub>2</sub> Y ] -635.207315	[ X <sub>2</sub> Y ] -668.460179	[ Y <sub>2</sub> ] 1324.155012
5	I $\times -\frac{x_1}{n}$ -0.87788779	-373.9802	-328.312651	-343.196712	649.824508
II	2 + 5	0	Sx <sub>1</sub> <sup>2</sup> 6.125936	Sx <sub>1</sub> x <sub>2</sub> 3.611332	Sx <sub>1</sub> y 14.617193
6	I $\times -\frac{x_2}{n}$ -0.91768685	-390.9346	-343.196712	-358.755542	679.284314
	3 + 6	0	3.611332	Sx <sub>2</sub> <sup>2</sup> 4.452325	Sx <sub>2</sub> y 10.824135
7	II $\times -\frac{Sx_1 x_2}{Sx_1^2}$ -0.58951514		-3.611332	-2.128935	-8.617057
III	3 + 6 + 7		0	$\xi$ 2.323390	$\eta$ 2.207078
8	I $\times -\frac{y}{n}$ +1.73759068	740.21363	649.824508	679.284314	-1286.188305
	4 + 8	0	14.617193	Sx <sub>2</sub> y 10.824135	Sy <sub>2</sub> 37.966707
9	II $\times -\frac{Sx_1 y}{Sx_1^2}$ -2.38611585		-14.617193	-8.617057	-34.878316
	4 + 8 + 9		0	2.207078	3.088391
10	III $\times -\frac{\eta}{\xi}$ 0.94993867			-2.207078	-2.096589
IV	4 + 8 + 9 + 10			0	0.991802
b <sub>2</sub>	+ 0.949939				
b <sub>1</sub>	+ 1.826113				
a'	- 4.165143				
			$Syx_1 x_2^2 = \frac{0.991802}{423} = 0.002345$		
			$S\hat{Y}^2 = 37.966707 - 0.991802 = 36.974905$		

正規方程式

$$\left\{ \begin{array}{l} 1. na' + bSX_1 + CSX_2 = SY \\ 2. a'SX_1 + bSX_1^2 + CSX_1 X_2 = SX_1 Y \\ 3. a'SX_2 + bSX_1 X_2 + CSX_2^2 = SX_2 Y \\ 4. a'SY + bSX_1 Y + CSX_2 Y = SY^2 \text{ (検算式)} \end{array} \right.$$

C <sub>2</sub>	C <sub>1</sub>	C <sub>0</sub>	計
1	1	1	
-0.877888			
-0.877888	1		
-0.917687			
-0.917687		1	
0.517528	-0.589515		
-0.400159	-0.589515	1	
1.737591			
1.737591			
2.047425	-2.386116		
3.785016	-2.386116		
0.380127	0.560003	-0.949939	
4.165143	-1.826113	-0.949939	

第7表

(その2)

	1 2 ~ 2 0	A	B	C	1
1	[ n ] 390	[ X <sub>1</sub> ] 454.3469	[ X <sub>2</sub> ] 424.9869	[ Y ] -404.23043	
2	[ X <sub>1</sub> ] 454.3469	[ X <sub>1</sub> <sup>2</sup> ] 531.665301	[ X <sub>1</sub> X <sub>2</sub> ] 496.732092	[ X <sub>1</sub> Y ] -464.839944	
3	[ X <sub>2</sub> ] 424.9869	[ X <sub>1</sub> X <sub>2</sub> ] 496.732092	[ X <sub>2</sub> <sup>2</sup> ] 467.155256	[ X <sub>2</sub> Y ] -433.359508	
4	[ Y ] -404.23043	[ X <sub>1</sub> Y ] -464.839944	[ X <sub>2</sub> Y ] -433.359508	[ Y <sup>2</sup> ] 438.5685715	
5	I × $-\frac{X_1}{n}$ -1.16499205	-454.3469	-529.310526	-495.106360	470.925237
II	2 + 5	0	Sx <sub>1</sub> <sup>2</sup> 2.354775	Sx <sub>1</sub> x <sub>2</sub> 1.625732	Sx <sub>1</sub> y 6.085293
6	I + $-\frac{X_2}{n}$ -1.08971000	-424.9869	-495.106360	-463.112475	440.493942
	3 + 6	0	1.625732	Sx <sub>2</sub> <sup>2</sup> 4.042781	Sx <sub>2</sub> y 7.134434
7	II × $-\frac{Sx_1 x_2}{Sx_1^2}$ -0.69039802		-1.625732	-1.122402	-4.201274
III	3 + 6 + 7	0	ξ 2.920379	η	2.933160
8	I × $-\frac{y}{n}$ +1.03648828	404.23043	470.925237	440.493942	-418.980103
	4 + 8	0	6.085293	Sx <sub>2</sub> y 7.134434	Sy <sup>2</sup> 19.588468
9	II × $-\frac{Sx_1 y}{Sx_1^2}$ -2.58423544		-6.085293	-4.201274	-15.725830
	4 + 8 + 9	0	2.933160		3.862638
10	III × $-\frac{\eta}{\xi}$ -1.00437649			-2.933160	-2.945997
IV	4 + 8 + 9 + 10			0	0.916641
b <sub>2</sub>	1.004376				
b <sub>1</sub>	1.890815				
a'	-4.333753				
			Sd <sub>y</sub> x <sub>1</sub> x <sub>2</sub> <sup>2</sup> = $\frac{0.916641}{387} = 0.002369$		
			S $\hat{y}^2$ = 19.588468 - 0.916641 = 18.671827		

$C_x$	$C_z$	$C_s$	計
1	1	1	
-1.164992			
-1.164992	1		
-1.089710			
-1.089710		1	
0.804308	-0.690398		
-0.285402	-0.690398	1	
1.036488			
1.036488			
3.010614	-2.584235		
4.047102	-2.584235		
0.286651	0.693420	-1.004376	
4.333753	-1.890815	-1.004376	

第7表 (その3)

	22 ~ 30	A	B	C	1
1		[n] 298	[X <sub>1</sub> ] 423.6244	[X <sub>2</sub> ] 376.2681	[Y] -110.27583
2		[X <sub>1</sub> ] 423.6244	[X <sub>1</sub> <sup>2</sup> ] 602.850868	[X <sub>1</sub> X <sub>2</sub> ] 535.183197	[X <sub>1</sub> Y] -155.209864
3		[X <sub>2</sub> ] 376.2681	[X <sub>1</sub> X <sub>2</sub> ] 535.183197	[X <sub>2</sub> <sup>2</sup> ] 476.225711	[X <sub>2</sub> Y] -137.501264
4		[Y] -110.27583	[X <sub>1</sub> Y] -155.209864	[X <sub>2</sub> Y] -137.501264	[Y <sup>2</sup> ] 46.153829
5	I × $\frac{X_1}{n}$ -1.42155839	-423.6244	-602.206820	-534.887074	156.763531
II	2 + 5	0	Sx <sub>1</sub> <sup>2</sup> 0.644048	Sx <sub>1</sub> x <sub>2</sub> 0.296123	Sx <sub>1</sub> y 1.553667
6	I × $\frac{X_2}{n}$ -1.26264463	-376.2681	-534.887074	-475.092896	139.239185
	3 + 6	0	0.296123	Sx <sub>2</sub> <sup>2</sup> 1.132815	Sx <sub>2</sub> y 1.737921
7	II × $\frac{Sx_1 x_2}{Sx_1^2}$ -0.45978405		-0.296123	-0.136153	-0.714351
III	3 + 6 + 7		0	ξ 0.996662	η 1.023570
8	I × $\frac{Y}{n}$ 0.37005312	110.27583	156.763531	139.239185	-40.807915
	4 + 8	0	1.553667	Sx <sub>2</sub> y 1.737921	Sy <sup>2</sup> 5.345914
9	II × $\frac{Sx_1 y}{Sx_1^2}$ -2.41234660		-1.553667	-0.714351	-3.747983
	4 + 8 + 9		0	1.023570	1.597931
10	III × $\frac{\eta}{\xi}$ -1.02699812			-1.023570	-1.051204
IV	4+8+9+10			0	0.546727
b <sub>2</sub>	1.026998				
b <sub>1</sub>	1.940150				
a'	-4.424822				
			Sd <sub>y</sub> x <sub>1</sub> x <sub>2</sub> <sup>2</sup> = $\frac{0.546727}{295} = 0.001853$		
			S $\widehat{Y}^2$ = 5.345914 - 0.546727 = 4.799187		

C <sub>s</sub>	C <sub>t</sub>	C <sub>s</sub>	計
1	1	1	
-1.421558			
-1.421558	1		
-1.262645			
-1.262645		1	
0.653610	-0.459784		
-0.609035	-0.459784	1	
0.370053			
0.370053			
3.429291	-2.412347		
3.799344	-2.412347		
0.625478	0.472197	-1.026998	
4.424822	-1.940150	-1.026998	

第7表 (その4)

	3 2 ~ 4 0	A	B	C	1
1		[n] 354	[X <sub>1</sub> ] 549.3165	[X <sub>2</sub> ] 465.6878	[Y] -21.23916
2		[X <sub>1</sub> ] 549.3165	[X <sub>1</sub> <sup>2</sup> ] 852.832698	[X <sub>1</sub> X <sub>2</sub> ] 722.751798	[X <sub>1</sub> Y] -31.993061
3		[X <sub>2</sub> ] 465.6878	[X <sub>1</sub> X <sub>2</sub> ] 722.751798	[X <sub>2</sub> <sup>2</sup> ] 613.458013	[X <sub>2</sub> Y] -26.801005
4		[Y] -21.23916	[X <sub>1</sub> Y] -31.993061	[X <sub>2</sub> Y] -26.801005	[Y <sup>2</sup> ] -5.121158
5	I × $-\frac{X_1}{n}$ -1.55174153	-549.3165	-852.397226	-722.627099	32.957687
II	2 + 5	0	Sx <sub>1</sub> <sup>2</sup> 0.435472	Sx <sub>1</sub> x <sub>2</sub> 0.124699	Sx <sub>1</sub> y 0.964626
6	I × $-\frac{X_2}{n}$ -1.31550226	-465.6878	-722.627099	-612.613353	27.940163
	3 + 6	0	0.124699	Sx <sub>2</sub> <sup>2</sup> 0.844660	Sx <sub>2</sub> y 1.139158
7	II × $-\frac{Sx_1 x_2}{Sx_1^2}$ -0.28635366		-0.124699	-0.035708	-0.276224
III	3 + 6 + 7		0	ξ 0.808952	η 0.862934
8	I × $-\frac{Y}{n}$ +0.05999763	21.23916	32.957688	27.940163	-1.274299
	4 + 8	0	0.964626	Sx <sub>2</sub> y 1.139158	Sy <sup>2</sup> 3.846859
9	II × $-\frac{Sx_1 y}{Sx_1^2}$ -2.21512749		-0.964626	-0.276224	-2.136770
	4 + 8 + 9		0	0.862934	1.710089
10	III × $-\frac{\eta}{\xi}$ -1.06673078			-0.862934	-0.920518
IV	4 + 8 + 9 + 10			0	0.789571
b <sub>2</sub>	1.066731				
b <sub>1</sub>	1.909664			Syx <sub>1</sub> x <sub>2</sub> <sup>2</sup> = $\frac{0.789571}{351} = 0.002249$	
a'	-4.426592			Sy <sup>2</sup> = 3.846859 - 0.789571 = 3.057288	

$C_x$	$C_z$	$C_s$	$\Sigma$
1	1	1	
-1.551742			
--1.551742	1		
-1.315502			
-1.315502		1	
0.444347	-0.286354		
-0.871155	-0.286354	1	
0.059998			
0.059998			
3.437306	-2.215127		
3.497304	-2.215127		
0.929288	0.305463	-1.066731	
4.426592	-1.909664	-1.066731	

第7表

(その5)

	42~50	A	B	C	1
1		[n] 254	[X <sub>1</sub> ] 420.0976	[X <sub>2</sub> ] 341.2011	[Y] 38.57373
2		[X <sub>1</sub> ] 420.0976	[X <sub>1</sub> <sup>2</sup> ] 695.165047	[X <sub>1</sub> X <sub>2</sub> ] 564.373575	[X <sub>1</sub> Y] 64.507599
3		[X <sub>2</sub> ] 341.2011	[X <sub>1</sub> X <sub>2</sub> ] 564.373575	[X <sub>2</sub> <sup>2</sup> ] 458.955412	[X <sub>2</sub> Y] 52.568794
4		[Y] 38.57373	[X <sub>1</sub> Y] 64.507599	[X <sub>2</sub> Y] 52.568794	[Y <sup>2</sup> ] 8.021230
5	I × $-\frac{X_1}{n}$ -1.65392756	-420.0976	-694.810999	-564.321903	-63.798155
II	2 + 5	0	Sx <sub>1</sub> <sup>2</sup> 0.354048	Sx <sub>1</sub> x <sub>2</sub> 0.051672	Sx <sub>1</sub> y 0.709444
6	I × $-\frac{X_2}{n}$ -1.34331142	-341.2011	-564.321903	-458.339334	-51.816532
	3 + 6	0	0.051672	Sx <sub>2</sub> <sup>2</sup> 0.616078	Sx <sub>2</sub> y 0.752262
7	II × $-\frac{Sx_1 x_2}{Sx_1^2}$ -0.14594631		-0.051672	-0.007541	-0.103541
III	3 + 6 + 7		0	ξ 0.608537	η 0.648721
8	I × $-\frac{Y}{n}$ -0.15186508	-38.57373	-63.798155	-51.816532	-5.858003
	4 + 8	0	0.709444	Sy <sup>2</sup> 0.752262	2.163227
9	II × $-\frac{Sx_1 y}{Sx_1^2}$ -2.00380739		-0.709444	-0.103541	-1.421589
	4 + 8 + 9		0	0.648721	0.741638
10	III × $-\frac{\eta}{\xi}$ -1.06603378			-0.648721	-0.691558
IV	4 + 8 + 9 + 10			0	0.050080
b <sub>2</sub>	1.066034				
b <sub>1</sub>	1.848224		Syx <sub>1</sub> x <sub>2</sub> <sup>2</sup> = $\frac{0.050080}{251} = 0.000200$		
a'	-4.336978		S $\hat{Y}^2$ = 2.163227 - 0.050080 = 2.113147		

$C_s$	$C_x$	$C_s$	計
1	1	1	
-1.653928			
-1.653928	1		
-1.343311			
-1.343311		1	
0.241385	-0.145946		
-1.101926	-0.145946	1	
-0.151865			
-0.151865			
3.314153	-2.003807		
3.162288	-2.003807		
1.174690	0.155583	-1.066034	
4.336978	-1.848224	-1.066034	

第7表

(その6)

	52~80	A	B	C	I
1		[n] 182	[X <sub>1</sub> ] 321.3135	[X <sub>2</sub> ] 250.3570	[Y] 71.73853
2		[X <sub>1</sub> ] 321.3135	[X <sub>1</sub> <sup>2</sup> ] 567.700798	[X <sub>1</sub> X <sub>2</sub> ] 442.127866	[X <sub>1</sub> Y] 127.648707
3		[X <sub>2</sub> ] 250.3570	[X <sub>1</sub> X <sub>2</sub> ] 442.127866	[X <sub>2</sub> <sup>2</sup> ] 344.844061	[X <sub>2</sub> Y] 99.373332
4		[Y] 71.73853	[X <sub>2</sub> Y] 127.648707	[X <sub>2</sub> Y] 99.373332	[Y <sup>2</sup> ] 31.376290
5	I × $\frac{X_1}{\frac{n}{-1.76545879}}$	-321.3135	-567.265743	-441.994966	-126.651418
II	2 + 5	0	Sx <sub>1</sub> <sup>2</sup> 0.435055	Sx <sub>1</sub> x <sub>2</sub> 0.132900	Sx <sub>1</sub> y 0.997289
6	I × $\frac{X_2}{\frac{n}{-1.37558791}}$	-250.3570	-441.994966	-344.388062	-98.682655
	3 + 6	0	0.132900	Sx <sub>2</sub> <sup>2</sup> 0.455999	Sx <sub>2</sub> y 0.690677
7	II × $\frac{Sx_1 x_2}{\frac{Sx_1^2}{-0.30547862}}$	-0.132900	-0.132900	-0.040598	-0.304650
III	3 + 6 + 7	0	ξ 0.415401	η 0.386027	
8	I × $\frac{Y}{\frac{n}{-0.39416775}}$	-71.73853	-126.651418	-98.682655	-28.277015
	4 + 8	0	Sx <sub>2</sub> y 0.690677	Sy <sup>2</sup> 3.099275	
9	II × $\frac{Sx_1 y}{\frac{Sx_1^2}{-2.29232856}}$	-0.997289	-0.997289	-0.304650	-2.286114
	4 + 8 + 9	0	0.386027		0.813161
10	III × $\frac{\eta}{\xi -0.92928760}$			-0.386027	-0.358730
IV	4+8+9+10			0 Sdyx <sub>1</sub> x <sub>2</sub> <sup>2</sup> 0.454431	
b <sub>2</sub>	0.929288				
b <sub>1</sub>	2.008451		Syx <sub>1</sub> x <sub>2</sub> <sup>2</sup> = $\frac{0.454431}{182-3} \left( \frac{Sdyx_1 x_2^2}{n-3} \right) = 0.002539$		
a'	-4.429987		S $\hat{Y}^2$ = Sy <sup>2</sup> - Sdyx <sub>1</sub> x <sub>2</sub> <sup>2</sup> = 3.099275 - 0.454431 = 2.644844		

$C_s$	$C_t$	$C_s$	計
1	1	1	
-1.765459			
-1.765459	1		
-1.375588			
-1.375588		1	
0.539310	-0.305479		
-0.836278	-0.305479	1	
-0.394168			
-0.394168			
4.047012	-2.292329		
3.652844	-2.292329		
0.777143	0.283878	-0.929288	
4.429987	-2.008451	-0.929288	

## 新旧材積表の比較

V 新材積表(胸高直径 1.20m)

但し V' 現行材積表(〃 1.30m)

50

D	V	V'	$\frac{V'}{V} \times 100$	H = 10m		H = 20m	
				D	V	D	V
4	0.008	0.0077	96			6	0.029
6	0.015	0.016	107			8	0.049
8	0.026	0.027	104			10	0.075
10	0.039	0.041	105			12	0.106
12	0.055	0.054	98			14	0.143
14	0.075	0.069	92			16	0.186
16	0.098	0.090	92			18	0.235
18	0.123	0.112	91			20	0.290
20	0.152	0.137	90			22	0.350
22	0.183	0.165	90			24	0.415
24	0.217	0.195	90			26	0.487
26	0.254	0.227	89			28	0.565
28	0.296	0.263	89			30	0.647
30	0.338	0.300	89			32	0.735
32	0.384	0.339	88			34	0.829
34	0.433	0.381	88			36	0.927
36	0.485	0.426	88			38	1.032
38	0.539	0.473	88			40	1.143
40	0.597	0.522	87			42	1.256
42	0.657	0.547	83			44	1.378
44	0.720	0.584	81			46	1.504
46	0.786	0.634	81			48	1.635
48	0.855	0.686	80			50	1.771
50	0.926	0.740	80			52	1.914
52	1.001	0.862	86			54	2.059
54	1.077	0.958	89			56	2.212
56	1.157	1.031	89			58	2.370
						60	2.531
						62	2.699
						64	2.873
						66	3.048
						68	3.233
						70	3.421
						72	3.612
						74	3.811

V'	$\frac{V'}{V} \times 100$	D	V	V'	$\frac{V'}{V} \times 100$
0.031	107	76	4.015	3.437	90
0.052	106	78	4.224	3.626	90
0.079	105	80	4.434	4.020	91
0.107	101	82	4.653	4.224	91
0.139	97	84	4.877	4.434	91
0.180	97	86	5.105	4.648	91
0.226	96	88	5.334	4.868	91
0.277	96	90	5.573	5.093	91
0.333	95	92	5.811	5.322	92
0.393	95	94	6.059	5.558	92
0.459	94	96	6.312	5.798	92
0.529	94	98	6.563	6.042	92
0.604	93	100	6.825	6.293	92
0.685	93	102	7.093	6.549	92
0.769	93	104	7.357	6.808	93
0.860	93	106	7.634	7.074	93
0.953	92	108	7.916	7.345	93
1.053	92	110	8.192	7.621	93
1.133	90	112	8.483	7.902	93
1.224	89	114	8.778	8.187	93
1.329	88	116	9.068	8.478	93
1.437	88	118	9.373	8.774	94
1.550	88	120	9.682	9.075	94
1.689	88	122	9.984	9.382	94
1.825	89	124	10.301	9.694	94
1.964	89	126	10.624	10.010	94
2.107	89	128	10.951	10.332	94
2.256	89	130	11.269	10.659	95
2.409	89	132	11.605	10.990	95
2.568	89	134	11.946	11.328	95
2.731	90	136	12.276	11.669	95
2.900	90	138	12.624	12.016	95
3.074	90	140	12.978	12.368	95
3.254	90	142	13.319	12.726	96
3.437	90	144	13.680	13.088	96

## ブ ナ の 附 表

D	V	V'	$\frac{V'}{V} \times 100$		D	V
146	14.047	13.457	96		12	0.154
148	14.399	13.829	96		14	0.208
150	14.773	14.208	96		16	0.270
					18	0.341
					20	0.420
					22	0.508
					24	0.603
					26	0.707
					28	0.820
					30	0.939
					32	1.066
					34	1.203
					36	1.346
					38	1.497
					40	1.658
					42	1.822
					44	1.999
					46	2.182
					48	2.371
					50	2.568
					52	2.775
					54	2.985
					56	3.207
					58	3.436
					60	3.668
					62	3.913
					64	4.165
					66	4.419
					68	4.686
					70	4.958
					72	5.235
					74	5.523
					76	5.817
					78	6.121
					80	6.425

$H = 30m$ 

$V'$	$\frac{V'}{V} \times 100$		D	V	$V'$	$\frac{V'}{V} \times 100$
0.161	105		82	6.741	6.157	91
0.210	101		84	7.066	6.463	91
0.272	101		86	7.389	6.775	92
0.341	100		88	7.728	7.095	92
0.417	99		90	8.074	7.423	92
0.502	99		92	8.417	7.759	92
0.593	98		94	8.776	8.101	92
0.692	98		96	9.142	8.450	92
0.799	97		98	9.504	8.808	93
0.912	97		100	9.885	9.172	93
1.033	97		102	10.271	9.545	93
1.161	97		104	10.653	9.924	93
1.295	96		106	11.054	10.312	93
1.438	96		108	11.461	10.706	93
1.588	96		110	11.860	11.107	94
1.734	95		112	12.281	11.517	94
1.885	94		114	12.708	11.933	94
2.047	94		116	13.126	12.357	94
2.214	93		118	13.566	12.789	94
2.388	93		120	14.013	13.228	94
2.505	90		122	14.449	13.675	95
2.661	89		124	14.908	14.129	95
2.862	89		126	15.375	14.591	95
3.071	89		128	15.847	15.059	95
3.288	90		130	16.306	15.536	95
3.511	90		132	16.792	16.021	95
3.743	90		134	17.283	16.510	96
3.981	90		136	17.761	17.009	96
4.227	90		138	18.263	17.516	96
4.481	90		140	18.773	18.029	96
4.742	91		142	19.266	18.549	96
5.010	91		144	19.788	19.078	96
5.286	91		146	20.317	19.616	97
5.569	91		148	20.825	20.158	97
5.859	91		150	21.365	20.709	97

## ブ ナ の 附 表

 $H = 40m$ 

D	V	V'	$\frac{V'}{V} \times 100$		D	V
22	0.654	0.671	103		92	10.823
24	0.777	0.794	102		94	11.285
26	0.910	0.926	102		96	11.755
28	1.056	1.068	101		98	12.220
30	1.209	1.220	101		100	12.708
32	1.373	1.382	101		102	13.204
34	1.549	1.553	100		104	13.694
36	1.733	1.734	100		106	14.209
38	1.928	1.925	100		108	14.731
40	2.135	2.125	100		110	15.243
42	2.346	2.346	100		112	15.783
44	2.574	2.562	100		114	16.331
46	2.809	2.781	99		116	16.867
48	3.052	3.009	99		118	17.432
50	3.306	3.245	98		120	18.006
52	3.573	3.314	93		122	18.564
54	3.843	3.476	90		124	19.153
56	4.128	3.740	91		126	19.751
58	4.423	4.013	91		128	20.357
60	4.722	4.296	91		130	20.945
62	5.036	4.588	91		132	21.568
64	5.360	4.891	91		134	22.199
66	5.686	5.202	91		136	22.808
68	6.030	5.524	92		138	23.453
70	6.380	5.854	92		140	24.107
72	6.735	6.195	92		142	24.737
74	7.106	6.546	92		144	25.406
76	7.485	6.906	92		146	26.084
78	7.874	7.275	92		148	26.734
80	8.265	7.655	93		150	27.426
82	8.672	8.045	93			
84	9.089	8.443	93			
86	9.504	8.852	93			
88	9.938	9.270	93			
90	10.383	9.699	93			

$V'$	$\frac{V'}{V} \times 100$					
10.135	94					
10.583	94					
11.039	94					
11.507	94					
11.984	94					
12.470	94					
12.966	95					
13.471	95					
13.987	95					
14.512	95					
15.046	95					
15.591	95					
16.145	96					
16.709	96					
17.283	96					
17.866	96					
18.459	96					
19.062	97					
19.676	97					
20.297	97					
20.929	97					
21.571	97					
22.223	97					
22.883	98					
23.555	98					
24.236	98					
25.127	99					
25.627	98					
26.335	99					
27.056	99					

第8表 10cm直径級別・平方和・積和・相関係数

直 径 級	本 数	$f r$	$S X_1$	$S X_1^2$	$S X_2$	$S X_2^2$	$S Y$
4 ~ 10	426	423	373.9802	334.438587	390.9346	363.207867	-740.21363
12 ~ 20	390	387	454.3469	531.665301	424.9869	467.155256	-404.23043
22 ~ 30	298	295	423.6244	602.850868	376.2681	476.225711	-110.27583
32 ~ 40	354	351	549.3165	852.832698	465.6878	613.458013	-21.23916
42 ~ 50	254	251	420.0976	695.165047	341.2011	458.955412	38.57373
52 ~ 80	182	179	321.3135	567.700798	250.3570	344.844061	71.73853
4 ~ 80	1904	1901	2542.6791	3584.653299	2249.4355	2723.846320	-1165.64679
又は 1.886							
直 径 級	本 数		$S x_1^2$	$S x_2^2$	$S x_1 x_2$	$S x_1 y$	$S x_2 y$
4 ~ 10	426		6.125936	4.452325	3.611332	14.617193	10.824135
12 ~ 20	390		2.354775	4.042781	1.625732	6.085293	7.134434
22 ~ 30	298		0.644048	1.132815	0.296123	1.553667	1.737921
32 ~ 40	354		0.435472	0.844660	0.124699	0.964626	1.139158
42 ~ 50	254		0.354048	0.616078	0.051672	0.709444	0.752262
52 ~ 80	182		0.435055	0.455999	0.132900	0.997289	0.690677
4 ~ 80	1904		189.056142	66.304263	103.988853	461.558287	262.945839
直 径 級	$n$	$\log a$	$b$	$c$	$R = \sqrt{\frac{S \hat{y}^2}{S \hat{y}^2}}$		
4 ~ 10	426	-4.165143	1.826113	0.949939	0.986852		
12 ~ 20	390	-4.333753	1.890815	1.004376	0.976322		
22 ~ 30	298	-4.424822	1.940150	1.026998	0.947486		
32 ~ 40	354	-4.426592	1.909664	1.066731	0.891487		
42 ~ 50	254	-4.336978	1.848224	1.066034	0.988357		
52 ~ 80	182	-4.429987	2.008451	0.929288	0.923783		
4 ~ 80	1904	-4.317607	1.893557	0.995970	0.998286		

$S \ Y^2$	$S \ Y \ X_2$	$S \ X_1 \ Y$	$SX_2 \ X_1$			
1324.155012	-668.460179	-635.207315	346.808044			
438.568571	-433.359508	-464.839944	496.732092			
46.153829	-137.501264	-155.209864	535.183197			
5.121158	-26.801005	-31.993061	722.751798			
8.021230	52.568794	64.507599	564.373575			
31.376290	99.373332	127.648707	442.127866			
1853.396090	-1114.179830	-1095.093878	3107.976572			
$S \ y^2$	$r_{x_1 \ x_2}$	$r_{x_1 \ Y}$	$r_{x_2 \ Y}$	$\left( \frac{S \hat{y}^2}{S \ y^2} \right)$	$S \hat{\sigma}^2 = S y^2 - (S_{by} x_1 x_2)^2$	
37.966707	0.691493	0.958465	0.832527	0.973877	36.974905	
19.588468	0.526907	0.895997	0.801713	0.953205	18.671827	
5.345914	0.346684	0.837313	0.706219	0.897730	4.799187	
3.846859	0.205609	0.745291	0.631960	0.794749	3.057288	
2.163227	0.110639	0.810655	0.651628	0.976849	2.113147	
3.099275	0.298381	0.858853	0.580982	0.853375	2.644844	
1139.776110	0.928797	0.994309	0.956502	0.996575	1135.872920	

函館營林局 ブナ幹材積表 (1)



函館營林局 ブナ幹材積表 (2)



函館營林局ブナ幹材積表 (3)



函館營林局ブナ幹材積表 (4)



## 資料収集ヶ所の林況 (1)

	旧林小班	作業級	面積	地況									
				地位	地利	方位	傾斜	基岩	土性	深度	結合度	湿度	摘要
江差 (上の国)	81い、	択	71 05	ブナ3	1	SSE SW	緩	古生板層岩	砂質壤土	中	軟	適	
	329い、	皆	4 51	ブナ1	1	概N	緩	古生層、 第三紀層 砂岩	砂壤土	中	軟	適	
	111い、	択	62 68	ブナ2	1	NW	中	古生板層岩	砂質壤土	浅	軟	適	
俄虫 (館)	155い、	皆	84 51	ブナ2	2	概ねW	緩	新第三紀層	砂壤土	浅	軟	適	
東瀬棚 (太櫓)	61ろ	皆	43 93	ブナ2	2	N	中	古期安山岩	壤土	中	軟	適	



## 資料収集ヶ所の林況 (2)

	旧林小班	作業級	面積		地況									
					地位	地利	方位	傾斜	基岩	土性	深度	結合度	湿度	摘要
(瀬棚)	33は	皆	94	69	ブナ 3	2	S	急	第三紀層、 中新世下部層。	埴壤土	中	軟	適	
函館 (茂辺地)	184い	皆	69	57	ブナ 2	2	概ね SW	緩～中	古生層、第 三紀層、粘 板岩、頁岩	埴壤土	中	軟	適	
八雲 (長万部)	37ろ	皆	77	36	ブナ 2	1	SW	中	第三紀層、 変朽安山岩	埴壤土	中	軟	適	
黒松内 (島牧)	25い	択	60	08	トドマツ 2	3	NW	急又 は中	第三系八雲 統八雲層	砂壤土	中	軟	適	
森 (落部)	29い	皆	34	20	ブナ 2	3	S	中	古期安山岩 一部八雲層	砂壤土	中	軟	適	
	33い	皆	73	90	ブナ 2	3	N	中～急	古期安山岩 一部八雲層	砂壤土	中	軟	適	

林況													備考	
樹種	混交歩合%	林令	疎密度	直径cm	樹高m	林種	林相	摘要	材積			連年成長量		
									調査別	総m³	Ha当m³	総m³	Ha当m³	
ブナ	80	130 20-280	密	29 6~70	18 5~24	天然	広	原生林林木の形質 稍良好生長中	標	8.179	88	65.4	0.70	
広	20			23 6~60	16 5~22					2.045	22	20.5	0.22	
L 計	100									10.224	110	85.9	0.92	
ブナ	80	100 20-200	中	26 6~80	17 5~23	天然	広	沢沿いを除いた台地は一般に林相良好 中径木多し	標	8.345	120	116.8	1.68	
広	20			20 6~90	15 5~23					2.086	30	29.2	0.42	
L 計	100								L	10.431	150	146.0	2.10	
ブナ	80	90 20-250	疎	28 6~80	19 5~26	天然	広	昭25.27 抾伐林相疎開し形質不良木 多くなる	標	5.994	80	65.9	0.88	
広	20			22 6~80	16 5~25					1.499	20	18.0	0.24	
L 計	100									7.493	100	83.9	1.12	
トドマツ	3	110 1~250	中	28 6~50	17 6~22	天然	広	トドマツ・ナラ・イタヤ・シナ・カンバ等の中大 径木一育林局所的裸地を含む	目	296	5	4.4	0.08	
N 計	3			38 6~80	19 6~25				N	6.038	102	60.4	1.02	
ブナ	60			36 6~80	18 6~25					3.730	63	41.0	0.69	
広	37									9.768		101.4	1.71	
L 計	97								L	10.064	170	105.8	1.79	
計	100													
ブナ	50	120 20-350	疎	38 6~70	20 7~24	天然	広	峯筋にゴヨウあれど材積掲上に至らず	目	1.641	50	14.8	0.50	
広	50			30 6~70	18 7~24					1.641	50	16.4	0.50	
L 計	100									3.282	100	31.2	1.00	
ヒメコマツ		110 20-350	疎	30 6~70	18 7~23	天然	広	林木の形質成長不良	目	70		1.3		
ブナ	70			28 6~70	17 7~23					5.652	77	50.9	0.70	
広	30									2.422	33	33.9	0.50	
L 計	100									8.074	110	84.8	1.20	
計										8.144		86.1	1.20	

昭和36年11月10日 印刷  
昭和36年11月10日 発行

函館営林局ぶな立木幹材積表

調製説明書

発行 函館営林局  
函館市駒場町14番地

印刷 富山印刷所  
函館市弁天町38番地